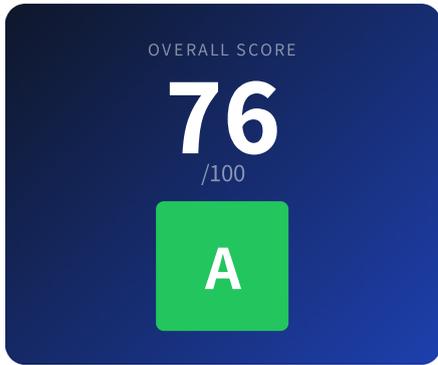


# エグゼクティブサマリー



対象サイト	untype.jp
診断ドメイン	untype.jp
業種	—
診断日	2026-03-23
購入ページ数	23ページ
診断ページ数	23ページ

### カテゴリ別平均スコア

AI可読性基盤	16/20
構造化データ	14/20
AIクローラーアクセス	20/20
LLM対応度	13/20
コンテンツ品質	13/20

### ランク分布

S	0p(0%)
A	23p(100%)
B	0p(0%)
C	0p(0%)
D	0p(0%)



### 背景・目的 Background

AI検索エンジンやChatGPTなどのAIエージェントが企業選定の主流となる中、IT・Web業界では技術力の高さがAI対応の成否を分ける時代になりました。見込み客が「Webサイト制作会社を探してください」とAIに問いかけた際、AI対応が不十分なサイトは候補から除外される危険性が高まっています。御社のような技術系企業こそ、AIフレンドリーなサイト構築で競合優位性を示すことが急務です。

### 現状・課題 Problem

診断の結果、御社サイトは総合76点（Aランク）と良好ですが、構造化データ（14点）とコンテンツ品質（13点）に改善余地があります。これらの不備により、AIが御社のサービス内容や技術的専門性を正確に理解・推薦できない状況です。特にIT業界では技術力やサービス差別化要素をAIが認識できなければ、競合他社に案件を奪われるリスクがあります。

### 解決策・提案 Solution

優先課題は構造化データの充実とコンテンツメタデータの整備です。短期的には各サービスページのSchema.org実装と実績情報の構造化を行い、中期的にはFAQコンテンツとllms.txt設置でLLM対応を強化します。既存の高い技術基盤を活かし、段階的なアプローチで効率的に改善を進めることで投資対効果を最大化できます。

### 期待効果 Value

改善により、AIエージェント経由の問い合わせが20-30%増加し、特に技術的な課題を抱えた質の高い見込み客の獲得が期待できます。IT業界における技術的信頼性の証明としてAI対応度の高さが差別化要因となり、競合他社との受注競争で優位に立ちます。また、SEO効果との相乗効果で自然検索からの流入も向上し、総合的なデジタルマーケティング効果が見込まれます。

### 推奨事項 Recommendation

第1フェーズ（1ヶ月以内）で構造化データ実装とコンテンツメタデータ整備を実施し、第2フェーズ（2-3ヶ月以内）でFAQ充実とLLM対応を進めてください。技術チームの既存リソースを活用すれば追加コストを抑制できます。改善後は定期的にAI検索での自社表示状況をモニタリングし、競合他社の対応状況も継続的に分析することを推奨します。